

つつじが丘北 自治会

管理組合・自治会ホームページ://tutuji.net メール:info@tutuji.net

第205号

2011年7月1日

平成23年6月26日(日)10時から、昭島市民会館の大ホールで、立川断層について等の『防災講演会』をつつじが丘北自治会と管理組合を始め、他のつつじが丘、プレイシアの自治会と管理組合、店舗会協賛で開催しました。

この団体の地域コミュニティ組織『まちづくり昭島北』の結成記念の講演会ともなりました。

9時半の入場開始と同時に多くの方がこられ、ホールの入口にも20~30人の列ができる位盛況で、最終参加人数は1,120名でした。当日は曇りで涼しい天候でした。



初めに主催者を代表し、小野正敏プレイシア自治会長(昭島市自治会連合会会長)からの挨拶で、10時から予定通り始まりました。

次に来賓を代表して、佐藤 清副市長から挨拶がありました。

講演にはいり、『家具転倒防止って どのようにするのか?』の講話を、昭島消防署地域防災担当の小峰孝廣係長から、震災時の家具転倒の怖さと、どうやって器具を取り付けるのかをビデオを使って判りやすく、説明がありました。

引き続き、昭島市が7月から実施する『家具転倒防止器具・無償支給制度』について昭島市都市計画課の永澤貞雄課長から説明していただきました。

『立川断層って動くのかー地震を知り正しく恐れるー』を首都大学東京・大学院都市環境科学研究科教授の山崎晴雄先生(写真右上)は、プロジェクターを使いながらの講演でした。

主な講演内容は、3月11日東北地方太平洋沖地震(M9.0)と日本列島の地殻変動/マグニチュードと震度/地震波の伝達と減衰/活断層とは何か/立川断層の位置と特徴/立川断層は動くのか・発生確率の変更理由/昭島の地盤と防災・関東地震の被害/地震災害と昭島市などでした。

昭島市に最も近い活断層の立川断層について丁寧に解説いただき、『昭島は多摩川の段丘(台地)の上に発達した町で、地盤は良好で地震動には強い。しかし、関東地震当時とは住宅環境などが大きく変化している。

家具転倒防止対策と火災に対する対応が最も重要である』とのアドバイスをいただきました。

北川穰一昭島市市長(写真)も講演を聞かれ、山崎先生の後、挨拶をいただきました。

最後にまちづくり昭島北会長の黒崎治雄(つつじが丘東自治会) 閉会の挨拶で12時に終了しました。ロビーでは、大震災募金用の竹うちわを販売し500本購入いただきました。ご協力ありがとうございました。



7月3日(日)は資源回収の日です! ご協力お願いいたします。